

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 1年 田村 和輝 (たむら かずき)

留学期間 令和元年7月25日 ～ 令和元年8月10日 (17日間)

留学先 セント・ジョンズ・グラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私は、学校で短期留学のプログラムがあると聞いた時は、自分の英語力でコミュニケーションを取ることができるのだろうかと感じていました。しかし、担当の先生やISAの方の説明や事前準備のおかげで、参加してみようという勇気が湧きました。

今思えば、17日間という日数はとても短いものでした。生まれて一度も日本から海外に渡ったことのない私は、「長いな」「食べものに困らないかな」と不安が山積みの状態でした。そんな私をホストファミリーは歓迎してくれ、優しく接してくれました。

週末には、オーストラリアのフットボールの試合に連れていってもらい、ホッケーのルールや遊び方を教えてもらいました。私はとても楽しい時間を過ごすことができましたと思います。苦労したことは、バディの友達やホームステイ先の両親の知り合いと話をすることでした。知らない単語が次々に出てきて、さらに話すのが速くなり、何を言えばいいのか混乱してしまいました。それと同時に、ホストファミリーが気を使って、私でもわかるようにゆっくり話してくださっていたことにも気づくことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

学校では、現地の高校生と文化交流をしたり、雑談をしたり、環境問題について話し合うなど、貴重な体験ができたと思っています。自分とは異なる視点からの意見は説得力もあり、納得することが多々ありました。初めころは、英語を話す時は、緊張して声が小さく、自信がなくて視線を落としがちでした。しかし、一番大切なことは、伝えようと努力をすることだと思い直して取り組んだことで、国や人種を超えて交流することができたと実感しています。

このように、私はオーストラリアへの短期留学で多くのことを経験し、学びました。日本とは異なった文化や生活に触れることで、違いを理解する心が養われたと感じています。今後は、英語学習にいつそう真摯に取り組むこと、日本の伝統的な文化を英語で伝えることの2つを目標とします。そして、将来、その力を使って、平和の尊さや日本文化を海外の人に伝えることのできる人間になりたいと思います。